

福島原発事故をめぐり、今何が起きているのか？わたしたちにどんな選択ができるのか？

福島がいま

～放射能汚染の実態から考える～

福島第一原発事故から13年が経とうとしています。しかし、原発事故は終わっていません。多くの人たちがふるさとやコミュニティ、生業、人とのつながりを失いました。帰還困難区域の解除が進んでいますが、住民の帰還は進まず、地域の姿は様変わりしています。時の経過につれて複雑化し、見えづらくなっている原発事故の現状について考えます。

開催日時

参加費
無料

2024年 2月18日 [日] 13:30-16:30

会場

船橋市勤労市民センター・地下ホール
(千葉県船橋市本町4丁目19-6)定員300人
* 事前申し込み制

映画上映会

13:30～15:00

「放射線を浴びたX年後Ⅲ サイレント フォールアウト 乳歯が語る大陸汚染」

(プロデューサー・監督・撮影:伊東英朗(いとうひであき) / ナレーション:加藤登紀子 / 2023年 / 83分)

ネバダ州の核実験から広がった“見えない降下物”
アメリカ大陸の放射能汚染の実態に迫る渾身のドキュメンタリー。
1951年、アメリカ大陸ネバダ核実験場で大気圏内核実験が始まった。計100回に及ぶ実験はアメリカ大陸を放射能汚染へ。それを実証しようとしたのは女性たちだった。「子どもの命を守りたい」。彼女たちの思いと行動が国を動かした歴史的事実とともに、放射能汚染に向き合う30人の証言と当時の文書から、いまなお潜む、“サイレント フォールアウト、見えない降下物”の実態をあぶり出す。



©伊東英朗事務所

©伊東英朗事務所

講演

15:10～16:10

「見えない化」される原発事故の今

満田夏花氏 (国際環境NGO FoE Japan)

避難者の苦悩、進まぬ帰還、変貌するコミュニティのかたち、ALPS処理汚染水、除染で生じた汚染土の再利用などについてお話しします。

登壇者プロフィール



満田夏花氏

国際環境NGO FoE Japan理事。
2011年3月11日からはじまった福島第一原発事故を契機に、被害者支援や脱原発・エネルギー政策に関する政策提言などに取り組む。

エナガの会

主に千葉県東葛地域に住む市民のグループです(2015年発足)。現在首都圏の各地の市民団体の皆さんと連携して東海第二原発再稼働反対の活動をしています。写真は昨年9月の東葛デモ(柏市)の様子です。



甲状腺検診ちばの会

私たちは、福島原発事故影響を協力医師と市民の手でチェックする団体です。2013年以来、姉妹団体も含めて50回程の市民検診を実施。コロナ禍での休止もありましたが、引き続き活動していきます。



自給エネルギーの会

自給エネルギーの会は、3.11直後、風向きと雨によって東葛地域が汚染に見舞われたことをきっかけに保育園の父母を中心に結成しました。現在は小学校での温暖化防止生活の見直し出前授業を活動の柱にしています。



千葉県放射性廃棄物を考える住民連絡会

福島第一原発事故により、千葉県内でも放射能汚染廃棄物(指定廃棄物)が発生し、その処理処分が大きな問題となってきました。これまで最終処分場の建設に反対し、地域の環境と命を放射能汚染から守るための活動を行ってきました。



脱原発市川市民の会

市川市内在住・在勤者で2011年に発足したグループです。講演会、上映会、除染活動、放射能測定会などを行ってきました。東海第二原発再稼働反対の運動も強めます。

生活クラブ生活協同組合(千葉)

生活クラブは生協のひとつ。食・環境・福祉を柱とした活動をしています。2012年度から生活クラブ独自の甲状腺検査や、保養活動へのサポートも行なっています。生活クラブ千葉でも毎年検査活動をすすめています。



なのはな生活協同組合

「人の命と暮らしを守る」を基本理念に、東京電力福島第一原発事故とその影響の大きさを風化させないよう様々な活動を行っています。私たちの食と命の安全を脅かす原発に反対する思いを組合員の皆様と共有したいと考えております。



なのはな生協

生活協同組合パルシステム千葉

パルシステムは、組合員(利用者)からの募金などを活用した原発事故被災者応援金制度を設け、2023年度は甲状腺検査や避難者交流会、保養などの活動にかかわる25団体へ総額1,890万6,600円を贈呈しています。本実行委員会の事務局を担っています。



▲助成団体「東日本大震災復興支援松戸・東北交流プロジェクト」防災井戸会議の様子

お申し込み方法

お申し込みの※は必須項目です。

- ①氏名※
- ②メールアドレス※
- ③電話番号(メールが届かなかった場合ご連絡いたします)
- ④事前質問(当日はチャットにて質問可能です)

右記二次元コードよりお申し込みください。

- お申し込み後、数日以内に確認メールが届かない場合は、メールアドレスの間違いなどからお申し込みが届いていない可能性があります。お手数ですが再度お申し込みください。

締切
[2/10土]



主催:フクシマを考えるフォーラム2024実行委員会

エナガの会 / 甲状腺検診ちばの会 / 脱原発市川市民の会 / 自給エネルギーの会
千葉県放射性廃棄物を考える住民連絡会 / 生活クラブ生活協同組合(千葉)
なのはな生活協同組合 / 生活協同組合パルシステム千葉

事務局

生活協同組合パルシステム千葉
TEL: 047-420-2605 (平日9:00~17:00)
Mail: palchiba-katsudo@pal.or.jp